議題１

アンケート回答結果

【アンケート結果】

■アンケート回答数：５０

■改善案

案１：３３
案２：１４
} **概ね　案１：案２＝２：１　の結果**

どちらでもない：３

■その他意見　※重複意見なし。

（養成講座の内容）

・現行の講座の受講も必要。短縮して養成講座に組み込めないか？

・現場ではいろいろな工具を使用するので、もう少し安全講習にも時間を取った方が良い。

・半年に及ぶ研修は敷居が高い。入会後の研修とした方が良い。

・入会までに必要な講習（機械講習・救命講習等）とイベントに必要なスキル（竹トンボ・門松等）を取得できれば入会後の即戦力になるのでは。

・現場作業がほとんどなので器具の使い方等の現場実習の後に座学を教えるのがいい

・東地区または西地区（未開発地区）も見学に入れて原点（未整備状態）と中地区の整備状況を体感して大きな夢を描ける人材を集める

（スキルアップ講習）

・生物多様性、里山保全に関するスキルアップ講座実施が必要。

（募集方法）

・募集の仕方の工夫が必要

・もっと PR をしたほうがいい

・年数回募集した方がいい

・短期講座を月 1 回行い、仮参加できる。仮参加後 1 年以内に案 1 の養成講座簡易版を受けることで正式入会

（活動方法）

・チーム別の活動を少なくしていき、人のコミュニケーションを大切にする

・受講者はパーククラブに加入する、加入すれば活動に参加することを厳守させる

・加入後の 1 年間の参加率（50%以上）満たない場合は自然退会とみなす

（その他）

・役員・リーダーの負担をなくすように、大阪府が企画・運営をはかる変更

・もう必要ない

【今後の方向性（案）　：　案１と案２のミックスタイプ　】

（目的）①パーククラブに入会したレンジャーが実際の活動に参加する率を増やす

⇒　まずはパーククラブのことをよく知ってもらい、知識は入会後に得てもらう順番とする

（活動に参加している人はいずれかのチームに所属しているため、まずはチームの活動内容をよく知ってもらい、参加率を上げていく）

②パーククラブに興味のある人向けに短期講座を廃止し、随時活動体験ができるようにする

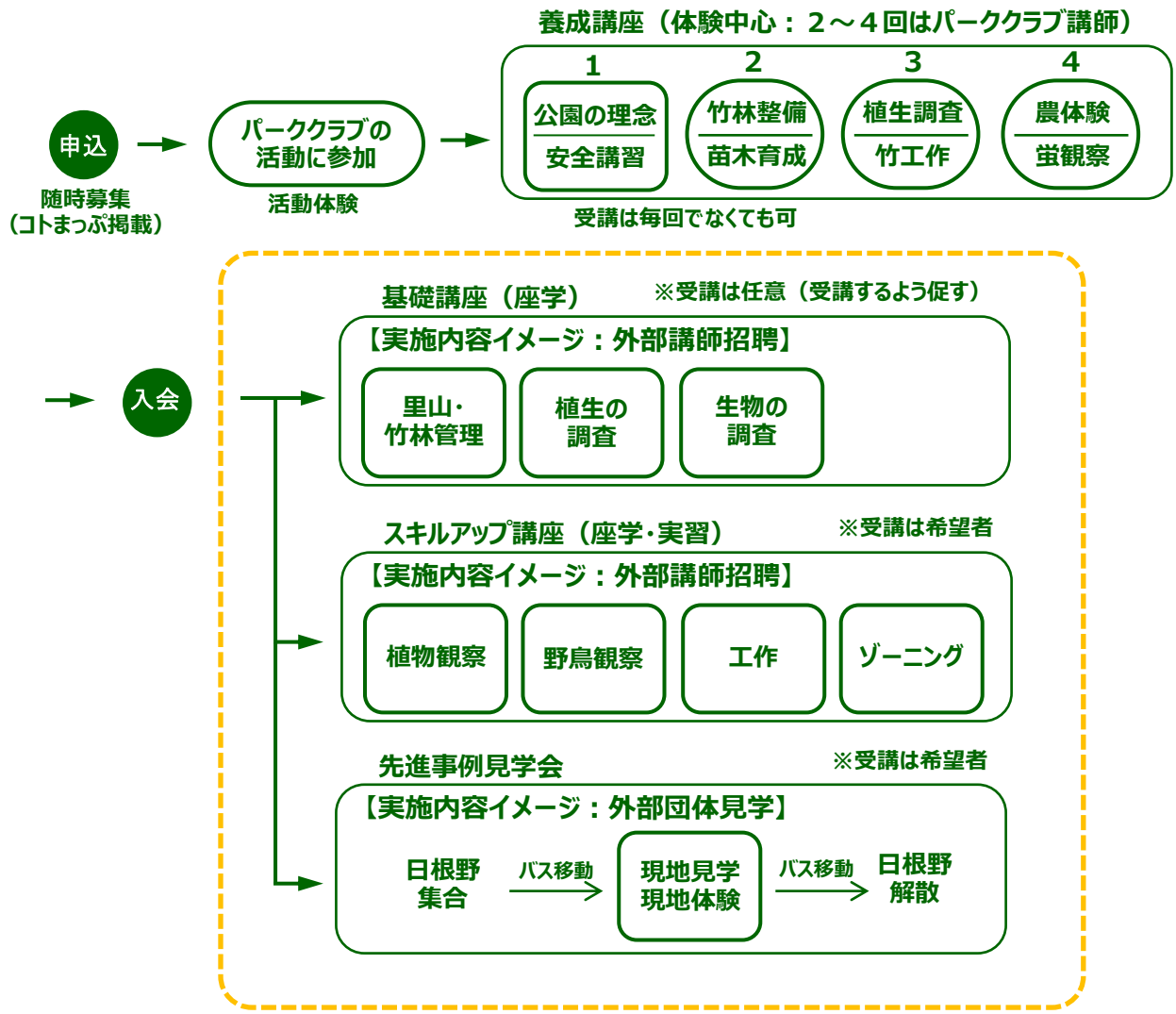
⇒　まずはパーククラブの具体的な活動内容や雰囲気を気軽に知ってもらう

（申込～講座実施の流れ）

- 随時パークレンジャー募集　⇒　活動体験に参加できる（入会は養成講座実施後）

  ※募集はコトまっぷに掲載、養成講座の実施前に市広報掲載依頼

- 養成講座の内容は実習（パーククラブ活動の体験）中心
- 現況の養成講座の内容等について、基礎講座やスキルアップ講座の充実を図る



【パーククラブ育成スキームイメージ】

泉佐野丘陵緑地　パーククラブのメンバー募集方法

議題－１【平成29年度第4回審議会資料】

① パーククラブのメンバー募集方法を変更する（案）・・・パーククラブの活動体験に転換し、仕組みの理解とメンバーとの交流を重視

これまではパークレンジャー養成講座の修了が入会条件

① 2009～2012年度：養成講座は全11回、約1年間をかけて実施（全回に講師を招聘）

1 公園の理念 → 2 公園の の探索 → 3 パーククラブを知る → 4 里山・竹林管理 → 5 植生の調査 → 6 景観と地域の文化 → 7 植物の育成 → 8 工作 → 9 活動計画の作成 → 10 ゾーニング → 11 今後の活動を検討 → 入会

② 2013～2015年度：講座は全6回、約3ヶ月をかけて実施（全回に講師を招聘）

1 公園の理念 → 2 里山・竹林管理 → 3 植生の調査 → 4 景観と地域の文化 → 5 ゾーニング → 6 パーククラブを知る → 入会

応募数減少やパーククラブの活動実態が具体化したことを受け、講座の回数を減らし入会へのハードルを下げること、実際の活動に必要な内容に絞ることを目的に回数を変更。しかし応募数は変わらず。

③【現行】2016～2017年度：②に短期講座を追加

0 短期講座（1日） → 1 公園の理念 → 2 里山・竹林管理 → 3 植生の調査 → 4 景観と地域の文化 → 5 ゾーニング → 6 パーククラブを知る → 入会

・理念のビデオ講義とクラブ紹介を実施。受講するとパーククラブの活動への仮参加資格を得る。
・クラブへの入会には養成講座の修了が必要。修了しない場合は仮参加資格も失効。

養成講座中は受講生とパーククラブの接点が薄く、活動実態がわかりづらいことが応募数や参加率に影響していると考え、仮参加資格を与える短期講座を設置。しかし大半の人は仮参加資格を持っている間に活動に参加せず、養成講座の修了を迎える結果となっている。

変更案①

●パーククラブのメンバー募集方法は「活動体験への参加」に変更し、入会後にスキルアップ講習を受ける。

1 公園の理念 クラブ紹介 安全講習 → 2 園路竹林整備体験 → 3 植生調査体験 → 4 農体験 → 入会

・1回目はレクチャーを行い、2回目以降はパーククラブの代表的なチーム活動を体験する。
・1回目の講師は増田先生とパーククラブ代表、2回目以降は該当チームが講師を担当する。
・9月には活動体験を終え、イベントも多い10月頃から活動参加できるようにする。

現行の養成講座を「活動体験への参加」に変更する。体験プロセスを終えた人は入会資格を得ることができる。

変更案②

●募集は常時行い、いつでも入会できることとする。ただし説明会などを実施する。　※会則の変更が必要

月1回説明会 公園の理念 クラブ紹介 安全講習 → 入会 → （例）入会月の統一活動日に参加 → 基礎講座 外部講師による公園の理念講座

どちらかに絞る？

講師は大阪府、パーククラブ

各チームの活動を詳しく知る

講師は増田先生など

募集は常時行いつつ、広報も兼ねて月1回の説明会か、外部講師による基礎講座を実施する。

2年目以降

スキルアップ講習

竹林整備、植生調査など、パーククラブを講師とした講習や、外部講師によるスキルアップ講習に参加し、スキルを学ぶ。

→ 新メンバー以外も参加可

→ 一般参加も可能に？

＋

イベント企画講習

2年目メンバー向けに、外部講師を招いてイベントの企画講習を実施する。企画の作り方を習い、実際にイベントを開催する。

→ 2年目メンバー限定

パーククラブの養成講座の内容変更等についてのアンケート

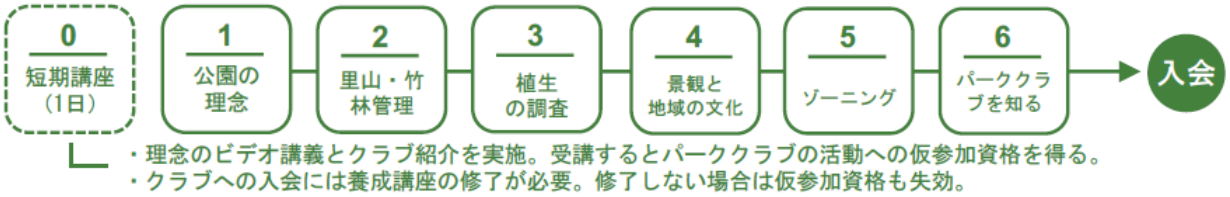
(資料)総会時
配布アンケート

「パークレンジャー養成講座」の内容は公園オープン前の第５期生から同じ内容を行っております。

現在、泉佐野丘陵緑地運営審議会において、**養成講座の講座内容や入会条件の改善（講座修了を条件としない）等について議論を行っております**。

パーククラブの皆様のご意見をお聞きしたいと思いますので、アンケートへのご協力をよろしくお願いします。

■現況



（今までに議論されている問題点・意見等）

- 養成講座はクラブの活動実態を知ることに、専門的な内容は入会後のスキルアップ講座を受講する方式に転換するのが良いのでは。
- 現養成講座は、学習内容が広く座学中心のため、受講生の内多数を占める公園づくりや自然観察の未経験者には抽象的。
- パーククラブやチームの活動内容について第６回目の説明まで知る機会が無く、クラブやチームの活動実態が判らない。
- 公園づくりに必須の安全講習についても最初の講習時に学んだ方がいい。
- 養成講座を廃止し適宜入会方式とし、必要な知識は入会後にスキルアップ講座にて習得する案も考えられる。

■改善案

【案１：パーククラブの活動内容を知ってもらうための実習中心】

養成講座の内容を座学中心⇒実習中心（パーククラブの活動体験）

【案２：入会のしやすさ UP（即入会できる）】

入会は随時募集もしくは年数回募集とし、即入会・活動できる（現在の会則は改正）

キ　リ　ト　リ

アンケート回答用紙

（　　）期　お名前（　　）

■改善案について、どちらの案がよいか番号を記載ください（　　）

■もっとこんな改善をした方がいいと思うことがあれば、ご意見をお聞かせください

（　　）

議題１参考資料
（ことマップイメージ）

大阪府営
泉佐野丘陵緑地

コトまっぷ

1月　~~2月~~　~~3月~~

ここで紹介しているコトは
ほんの一例です。
ほかにも四季折々の
楽しいコトがたくさん！
ホームページで調べたら、
さあ、出かけよう！

泉佐野丘陵緑地
http://izumisano-kyuryo.jp/

★季節のイベントのイラスト＋実施月の情報

※その他、ラジコン、スケボーなどの他の利用者の
迷惑となる行為は禁止します。

※パークセンターから奥は、
ペットの持ち込み、自転車の
乗り入れは、ご遠慮下さい。

関わりかた

泉佐野丘陵緑地は、
公園への関わりかたもさまざま。
で自分にぴったりのスタイルでお楽しみください。

気軽に楽しみたい！参加したい！

遠足で行きたい！

公園を自由に散策する。

このなかで行ってみたい！

公園で行われるコトに参加する。

もっと関わりたい！

公園を舞台にしたコトを企画し、利用者に向けて提供する。

パートナーとボランティアで公園づくりの企画・運営に参加する。

企業で応援したい！

泉佐野丘陵緑地のサポーターになる。

※詳しくは、ホームページをご覧ください。

※現況記載内容のまま

大阪府営
泉佐野丘陵緑地
IZUMISANO KYURYO RYOKUCHI

■各施設の利用時間■

[パークセンター]
○開館時間：午前9時30分～午後5時　（3月1日～11月30日）
　午前9時30分～午後4時30分　（上記以外）
○休　館　日：毎週月曜日　（祝日の場合は翌日）
　及び年末年始　（12月29日～1月3日）

[駐車場]
臨時駐車場（126台：大型車対応可）

○利用時間：午前9時30分～午後5時　（3月1日～11月30日）
　午前9時30分～午後4時30分　（上記以外）
○閉　鎖　日：毎週月曜日　（祝日の場合は翌日）
　及び年末年始　（12月29日～1月3日）

■アクセス■

[公共交通]
○JR長滝駅から徒歩30分・JR日根野駅から徒歩35分
○コミュニティバス（平日・土曜日）・観光周遊バス（日曜日・祝日）
　平　日：上村バス停から徒歩10分
　土・日・祝：泉佐野丘陵緑地パークセンターバス停下車すぐ
※時刻表、路線図等は、泉佐野市にお問い合わせください。
○南海ウメガバス　久ノ木バス停から徒歩30分
※共に南海泉佐野駅、JR日根野駅から出発

[車でのお越し]
○上之郷インターチェンジ出口　西へ約500m

■お問い合わせ先■

泉佐野丘陵緑地　パークセンター
住所：〒598-0024　大阪府泉佐野市上之郷90番地
TEL：072-467-2491
FAX：072-467-2493

（管理者：大阪府岸和田土木事務所）

このパンフレットは、緑地づくりの趣旨にご賛同いただいている企業グループ「大輪会」の協力で製作しております。

四季の写真の表紙

※現況記載内容のまま

山の辺の えん

大阪府営泉佐野丘陵緑地は、21 世紀に大阪府で初めてオープンした 19 番目の府営公園です。この公園は、大阪平野の南部、山と街をつなぐ辺（ほとり）に位置します。

地域の方々や企業、団体と協力したから、みんなで縁（えん）を結びながら、21 世紀にふさわしい新しい公園づくりを進めていきます。

泉佐野丘陵緑地の

3つのたいせつ

1 景観や環境を大切にする

2 地域の人や企業と一緒につくる

3 いつまでもつくり続ける

えんづくりプログラムの紹介

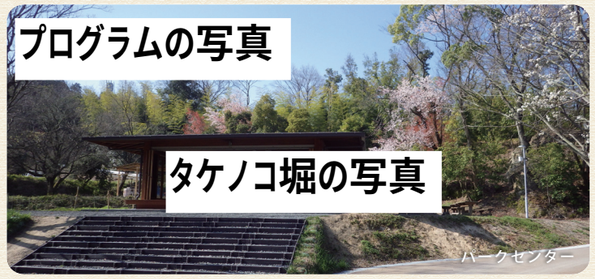
- 趣旨
- 実施例
- 募集概要

記載イメージ

年間イベント情報

してみませんか？

4月	タケノコ掘りイベント
5月	サツマイモの植え付け体験
6月	ササユリ鑑賞会・田植え体験
7月	夏の昆虫観察会
8月	樹木・果樹育成体験
9月	稲刈り体験
10月	秋の郷遊びイベント
11月	タマネギの植え付け体験
12月	ミニ門松づくり体験

-kyuryo.jp/

プログラムの写真